

つながる杜の掲示板

宮城教育大学 生物学教室 棟方有宗
(amunakata@yahoo.co.jp)

自己紹介

川、海、田んぼ。
水でつながる仙台の風景のなかで魚が行き来できる環境を取り戻すこと。
それを、次の世代に「学び」として手渡すこと。

これまで、広瀬川流域から東部沿岸域にかけて、淡水魚類の保全を軸に、環境教育や街づくりに携わってきました。

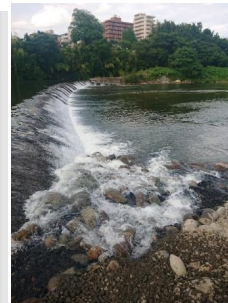
現在、以下の取り組みについて、協働・連携いただける企業・団体・個人の方を募集しています。

主な活動フィールド

広瀬川：仙台を象徴する川であり、今もサクラマスやアユ、わずかではあるがサケが遡上する。しかし、中流域には幾つかの堰があり、これらの生物の川の上り下りを阻害している。

八木山：広瀬川の集水域であり、典型的な住宅地。一見すると保全やネチャーポジティブとは無関係に見えるが、仙台に広がる典型的な住宅街だからこそ、面積的な保全のインパクトも大きい。ここをモデルに都市～都市河川のネチャーポジティブに突破口を見出したい。

東部沿岸：広瀬川の水が最後に流れ込む、沿岸の水田地帯。と同時に震災の被災を乗り越えて免れた水生生物の生息場も残されており、今後の保全の推進が望まれる。



① 自然共生サイトの運営（支援マッチング募集）

2025年 仙台市内で自然共生サイトを二か所登録しました

仙台・八木山里山ビオトープ
沿岸カントリーパーク新浜のビオトープ



現在、保全管理やモニタリング、ESDを継続する
ための運営支援・協働パートナーを求めています。企業の生物多様性への貢献や、
ネイチャーポジティブの「見える成果」としても位置づけ可能です。

② 広瀬川流域の自然再生と街づくり（連携団体募集）

大橋せせらぎ水路～愛宕堰～竜の口切り欠き魚道～東部沿岸田んぼ、
水と魚のつながりを軸に環境調査、魚道設置の提案、
切り欠き魚道の情報発信、それらを資源としたESDを進めています。
流域スケールでの自然再生と、街づくりを結びつける取り組みです。



これらの活動への支援・マッチング・連携・協働をご検討いただける方は、お気軽にご連絡ください。自然と人が共に生きる仙台を、現場から一緒につくりませんか。

連絡先

宮城教育大学 生物学教室 棟方有宗

e-mail:amunakata@yahoo.co.jp

電話:022-214-3414

